

香美市立舟入小学校

道徳だより

ピカピカの1年生20人と、4人の転入生を迎え112人でスタートした31年度の舟入小学校。始業式以降は、春の穏やかな光にも似た穏やかな笑顔に学校が包まれ、気持ちよくスタートすることができたと思います。

さて、舟入小学校は、平成30年度から3年間道徳教育実践充実プラン「道徳教育推進拠点校事業」の県指定を受け、道徳科の趣旨を踏まえた指導方法及び評価の在り方に関する道徳の授業実践の研究を進めているところです。今年度は、昨年度の研究の成果や課題を踏まえながら、自分事として考えたり、話し合ったりする活動を通して、自己の生き方についてより深く考えられる授業づくりを目指していきたいと考えています。道徳参観日や研究授業において、保護者、地域の皆様に、ご協力をお願いする場面も多くなるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

始業式を終えた1週目より、各学年で道徳の時間がスタートしています。それぞれの学年で、昨年よりレベルアップした物の見方や考え方を多くの児童が発表してくれており、いつも楽しく、ともに考えることができます。まずは、1年生で初めて行った道徳の時間についてお伝えをします。

1年生 「たのしい がっこう」

1年生の初めての道徳では、学校にはどんな楽しいことがあるのかというテーマで、自由に意見を出してもらいました。「国語の本読みが楽しい！」「音楽で歌えることが楽しい！」「外でみんなで遊ぶのが楽しい！」「みんなで給食を食べるのが楽しい！」などなど、黒板が足りなくなるくらい、たくさんの意見を出してくれました。1回目なので、ちょっと意見は出にくいかなと思っていたので、うれしい誤算でした。これからの1年生との道徳の時間がとても楽しみになった1回目の道徳の時間でした。また、次回もがんばりましょう。

返信欄 お名前()

どんなご意見ご感想でも結構です。みなさまのお声を寄せていただけるとうれしいです。